

# みいな

みんなで

いっしょに

なかよく



## ～男女共同参画社会における地域・社会活動～

性別によらずに、あらゆる分野で誰もが輝くことのできる「男女共同参画社会」の実現のためには、「家庭」「職場」「学校」「地域」など、あらゆる場面で、女性も男性も共に関わるのが大切です。「地域・社会活動」にはどんなものがあるのかみてみましょう。

自治会まちづくり

PTA・青少年育成

防災・防犯

自然保護・環境美化

福祉ボランティア

福祉

地域社会活動

「那須塩原市男女共同参画市民意識調査(H27)」によると、地域・社会活動に参加していない方は、「仕事が忙しい」「参加したいと思うものがない」「関心がない」「団体や活動などの情報がない」等の理由から参加されていないようです。

このため、地域活動等に参加するためには、長時間労働の是正や働き方の見直しによるワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進、企業の理解などが重要となります。そして、趣味や地域活動、ボランティア活動などに参加することは、様々な人との繋がりや体験ができ、豊かな人生に繋がります。

ぜひ地域活動等に参加してみませんか？  
以下の施設や広報紙等をご利用ください。

▶ 那須塩原市ボランティアセンター  
TEL：0287-73-0073  
住所：桜町1-5(いきいきふれあいセンター内)

▶ 市民活動センター  
TEL：0287-73-5741  
住所：大原間西1-11-10

～なすしおばら市民フェスタ～  
8月5日(日)に市民団体の模擬店やPR、「市民活動」に関する参加型トークイベントなどを行いました。



|   |        |
|---|--------|
| 地域を支えている/活動している方々                       | 2～3ページ |
| 平成30年度版 男女共同参画に関する年次報告 ～平成29年度の実施状況～    | 4ページ   |
| 男女共同参画「誰もががらりセミナー」れぽーと                  | 5ページ   |
| 男女共同参画フォーラム2018 男女共同参画に関するアンケート調査 四コマ漫画 | 6ページ   |

# 地域を支えている♡活動している方々

自分の生まれ育った地元を守りたいという想い・女性が活動できる場を作りたいという想いから地域活動を始めた **君島圭一さん** と、中学生の時にボランティア活動へ参加したのをきっかけに高校生ボランティアグループの会長を務めている **遠藤さくらさん** にお話を伺いました。

君島圭一さん  
(関谷)



## 活動を始めたきっかけは？

自分の生まれ育った地元(上の内)が良くなってほしい、地域を活性化させたい、という想いから活動を始めました。また、以前は、塩原の上の内地域の女性は農業をされている方が多く、外に働きに出られる場所がありませんでした。そういった状況をみて、**女性の方が外でも働ける場を作りたいと思ったんです。**

## 活動を続けられる理由や原動力は？

自分には「言ったことはやらなきゃいけない」という信念があります。自分に嘘はつきたくないんです。そして、周囲のみんなが頑張ってくれたから今があります。関の里立ち上げ当時、関わっていた男性の殆どが立ち上げに反対しましたが、上の内の女性の助けがあったから立ち上げることができました。



▲「関の里」のスタッフのみなさん

## 誰もが住みよいまちづくりをしていくためには、 どんなことが必要だと思いますか？

## 女性が活動できる場を

### どのような活動をされていますか？

関谷の上の内にある「鷹八幡宮」の二年参り(大晦日か元日にかけての詣で)に訪れた人たちの安全を守るため、「八幡様の灯を守る会」の活動を27歳の時から40年間続けています。また、関谷の「城鍛舞」の保存に力を注いでいます。そして、道の駅「アグリパル塩原」と「農村レストラン関の里」の立ち上げに関わりました。現在、**関の里はスタッフ全員が女性で、生き活きと活躍しています。**



※城鍛舞 戦国時代、大田原城築城に従事した農民たちが城の完成を祝って舞ったのが始まりといわれる。県指定無形民俗文化財。

誰もが住みよいまちづくりには、「楽しさ」が必要だと思います。いくらお金があっても人と人の関係が上手くいっていかないと、住みやすいまちとは言えないと思います。相手を思いやり、仲良くすることができれば「楽しさ」が生まれ、住みよいまちになるのだと思っています。

## 高校生ボランティアグループ「とんぼの会」

### どのような活動をされていますか？

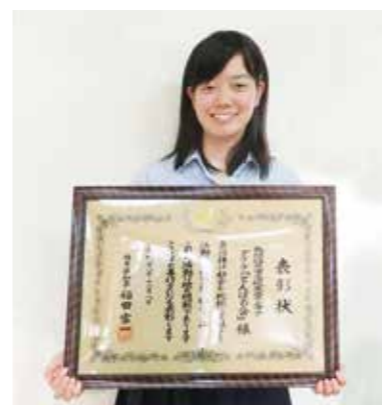
「とんぼの会」は昭和63年設立の高校生ボランティアグループです。那須塩原市を拠点に活動しており、講演会における託児や老人ホーム行事のお手伝い、なしお博や公民館まつりをはじめとする地域イベントのお手伝いなどをしています。会員は現在26名(女性24名、男性2名)、**市内の高校に在学している高校生の他、大田原市や矢板市、宇都宮市にある高校に在学している人も多く、本当に様々な会員が活動しています。**

### 活動を始めたきっかけは？



私がボランティア活動を始めたきっかけは、中学2年生の時、学校でアジア学院の収穫祭のボランティアを募集しており、これに参加したのがきっかけです。ボランティアを通して「ありがとう」という言葉をいただき、とても嬉しく、「自分にもできることがあるんだ!」と思えるようになりました。その後、高校の教室に「とんぼの会」会員募集のポスターが貼ってあり、入会しようと思いました。

### 活動を続けられる理由や原動力は？



▲「とんぼの会」栃木県知事表彰状(H28)

ボランティアでは、屋外での活動も多く、炎天下の中で「疲れたなあ…」と思うことも正直あります。でも、「お疲れ様、ありがとう」という言葉をいただくと、本当に嬉しくなり、ボランティアをして良かったと思います。また、ボランティア活動では、**地域の人々との触れ合いや繋がりができ、貴重な体験をさせていただいています。**託児で出会う小さな子どもたち、老人ホームで出会うお年寄り、ボランティア団体の方、とんぼの会の仲間たち、ボランティアをしていなかったら、出会うことはできなかったかもしれません。こうした「ありがとう」の言葉や出会いが活動を続ける理由だと思います。

### 今後どのような活動をしていきたいですか？

「とんぼの会」は31年という長い歴史を築いている団体です。高校3年間という期間のなかで、沢山の先輩方から受け継いできた「とんぼの会」を多くの人に知っていただきたいと思っています。また、現在、私は高校3年生で、とんぼの会の現役会員として活動できるのは残り1年ですが、大人になっても、ボランティア活動を続けていきたいと考えています。将来の夢は、料理人になることなんです。食べ物を通して生きていく上で欠かせないもの。そうした**食べ物を通して、どこかでボランティアに繋がること**ができるんじゃないかと思っています。

### 誰もが住みよいまちづくりをしていくためには、 どんなことが必要だと思いますか？

とんぼの会の会員には、色々な高校の生徒がいて、女子も男子もいて、一緒にボランティア活動をする時は、学校も性別も関係なく、**一生懸命活動しています。**でも、男子会員は女子会員に比べて少ない状況です。もし男子会員と女子会員が同じくらいの人数になったら活動の幅が広がるんじゃないかと思いました。また、ボランティアに興味のある若い人も集まりやすい場所ができると良いなあと思っています。

そして、**ボランティアとは、お互いがそれぞれできることをやるということだ**と思うので、誰もが自然にボランティア活動に参加できるようになると良いと思います。

最後に、「とんぼの会」はボランティア活動をする仲間を募集中です!もしボランティア活動をしようか迷っている高校生がいたら、勇気をもって一歩を踏み出し、ぜひ一緒に活動してみませんか?



遠藤 さくらさん  
(とんぼの会代表 黒磯高等学校3年)



▲「とんぼの会」パーベキュー交流会(H30.8)

# 男女共同参画に関する年次報告

## 平成29年度の実施状況

那須塩原市では、男女が互いに人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現を目指し、「第3次那須塩原市男女共同参画行動計画」の3つの基本目標の下、各施策・事業を推進してきました。男女共同参画推進事業に関する平成29年度の主な事業の実施状況について報告します。なお、全容は、市ホームページ「男女共同参画」のページでご覧いただくか、市役所市民協働推進課の窓口及び各支所でご覧いただけます。

## 第3次那須塩原市男女共同参画行動計画(平成29年度～33年度)

### 基本目標Ⅰ

## 男女共同参画の意識づくりと環境整備

自らが望む生き方を選択できる社会の実現を目指し、男女共同参画意識の啓発を行います。また、家庭生活や職業、地域活動との両立ができる環境づくりのため、子育てや介護サービスの充実など社会的支援に努めます。

#### 平成29年度の主な事業・取組例

##### ●ファミリーサポートセンター事業

- 利用会員240人、サポート会員98人、両方会員31人（平成30年3月末時点）
- 平成29年度サポート件数1,747件

##### ●家庭教育講演会の開催

**日時** 平成29年7月1日（土）13:30～15:30

**内容** 「子どもの才能の伸ばし方」

～明るく、楽しく、あきらめない～

**講師** 辻井いつ子氏（ピアニスト辻井伸行氏の母）



### 基本目標Ⅱ

## 男女の人権尊重と暴力の根絶

差別や偏見のない社会を目指し、人権意識の啓発を行うとともに、男女間のあらゆる暴力の根絶に努めます。また、生涯を通じて社会参画ができる環境づくりのため、健康の保持増進を図るとともに、高齢者、ひとり親家庭、障害者等に対する自立支援や生きがいづくりに努めます。

#### 平成29年度の主な事業・取組例

##### ●小学生への人権啓発

- 「人権の花」運動を市内小学校4校で実施（鍋掛小、共英小、槻沢小、関谷小）

##### ●中・高校生に対するDV防止のための啓発

- 市内の高校生を対象に、デートDVに関する朗読劇やワークショップを実施
- デートDV防止パンフレットを作成し、市内中学・高校3年生へ配布



### 基本目標Ⅲ

## あらゆる分野への男女共同参画の推進

男女が対等な構成員として、政治、経済、社会、文化などあらゆる分野に参画していくため、政策・方針決定過程への女性の参画を図ります。また、地域の活動に性別や年代にかかわらず参画できる環境づくりを推進します。

#### 平成29年度の主な事業・取組例

##### ●生涯学習出前講座（行政編）（市民編）

- 登録講座数 行政編：61講座 市民編：57講座
- 延べ実施回数 行政編：197回 市民編：18回
- 延べ利用者数 行政編：10,832人 市民編：505人

##### ●協働のまちづくり推進協議会の運営

- 共催事業「地域活動・市民活動交流会2018」
- 期日** 平成30年1月28日（日）
- 市民活動センター設置に向けた検討



# 男女共同参画「誰もがきりりセミナー」レポート

祖父母世代の孫育て！ ～みんなで育てる子どもの未来～

講師：NPO法人孫育て・ニッポン理事長 ほんだあきこ 棒田明子氏

7月7日  
西那須野公民館

子育てでは、昔も今も変わらない大切なものがあります。一方で、時代と共に少しずつ変化してきているものもあり、そうした変化から子育てをめぐる親世代と祖父母世代の意見がすれ違うことも少なくありません。そのため、今と昔の子育ての違いなど“孫育て”について学び、ワーク・ライフ・バランスの促進及び家庭や地域での活躍の場の広がりを目指すセミナーを開催しました。

講座では、「核家族化や共働きにより家庭での子育ての負担が大きいこと」「親族の縮小・ご近所関係の希薄化により子育てを真似るお手本が減少したこと」で、親は子育てに不安感を抱いている現代の事情について学びました。だからこそ、親や子どもに多様な知識や経験を教えられる祖父母の役割は大きく、孫育てに関わることの大切さをお話されました。

しかし、「孫の魔法には要注意」といいます。孫の可愛さに祖父母は何でもしてあげたくなるけれど、やりすぎは祖父母が疲弊してしまいます。「体力・時間・お金・心にはゆとりを持ち、断る勇気をもって」孫育てを。また、親切心から孫にしてあげた行為が、親にとってはして欲しくない行為ということもあるそうです。「孫の前髪が目にかかっていたから切ってあげたら、七五三のために伸ばしていたのに！とママが落胆」といった事例が話され、「何をして欲しいか、して欲しくないかをきちんと話しておくことが大切」とであると強調されました。「育児の主演は親。祖父母はサポーター。」

大きなお孫さんがいる方、小さなお孫さんがいる方、これからお孫さんを迎える方、地域子どもたちを育てる方、様々な方が参加され、孫育て（他孫育て）について、生き活きとお話されていました。みんなで楽しい子育て、孫育てができるといいですね。



## ～子育て今と昔、変わったこと(例)～



● 風呂上りの白湯  
母乳で育てている場合は母乳を。ミルクの場合は欲しがる時に湯冷ましを。  
(新生児)

● 果汁  
今のミルクはビタミンCが添加されているため、果汁は与えなくても大丈夫。

● 抱き癖  
泣いたらすぐに抱っこ。抱き癖は気にせず、スキンシップ重視で自己肯定感を育てる。

● 洋服  
赤ちゃんは新陳代謝が盛んなので、厚着はさせすぎない。室内での靴下は滑るので裸足。

● 離乳食  
口の中の虫歯菌が移ってしまうので、かみ碎いては与えない。赤ちゃん専用食器で虫歯予防。

## 女性のためのプチ起業講座 ～自分のビジネスの話をしよう！～

講師：C.K.コンサルティング&コーチング代表 こんどうちその 近藤千園氏

7月14日・7月28日  
稲村公民館

子育て、介護、夫の転勤など様々な理由から、自分の思い描くキャリア形成が難しい女性は少なくないのではないのでしょうか？「自分らしく働く」ための選択肢のひとつに「起業」があります。誰もがきりりセミナーでは、昨年度に引き続き、自分の興味・関心や特技を活かしながら自分らしく働きたいと想う女性のため、起業に関するセミナーを開催しました。

講座では、起業することが目的なのではなく、起業という手段を通してどんな人生を歩んでいきたいかが重要であることを学びました。人生100年時代を迎えるこれからの人生では、自分自身の生活・仕事を見つめ直し、5年後、10年後、20年後、人生全体の理想を「具体化」することが大切であり、将来の大きな目標に向かい、日々の小さな目標を達成することで、「今何をすべきか」が見えてくることを学んだ他、グループワークを通して自身の想いの明確化や、参加者同士のネットワークづくりが行われました。



# “男女共同参画フォーラム2018”のお知らせ

**日時** 平成30年 **12月2日(日)**  
**開場** 12:30 **開演** 13:00～15:30

**場所** 三島ホール (那須塩原市東三島6-337)

**内容**

- 開会行事
- 男女共同参画推進事業者表彰式
- 講演・トークコンサート  
 「金子みすゞの心・マザーテレサのメッセージからみた男女共同参画」  
 講師: ちひろ (歌手/作曲家/ラジオパーソナリティ)



山口県出身。1997年より作曲家、2003年より歌手として活動を始め、童謡詩人 **金子みすゞ** の詩に曲をつけた歌を中心に、全国・海外でコンサートや講演を行っている。人としての原点を見つめ、忘れていたものを思い起こさせてくれる“感動のステージ”

## お月見



作: miina 絵: daisuke

**入場料 無料 ※整理券が必要です**  
**11月2日(金)**より整理券配布開始予定

### 整理券配布場所

- 本庁市民協働推進課 (3階5番窓口)
- 西那須野支所総務税務課 (1番窓口)
- 塩原支所総務福祉課
- 常根出張所
- 三島公民館

**託児 無料** ※満1歳以上のお子さんが対象 定員5名  
**11月19日(月)**までに市民協働推進課へ電話申込  
**【問い合わせ先】** 市民協働推進課 男女共同参画係  
**☎ 0287-62-7019**

## 「男女共同参画社会に関するアンケート調査」のお知らせ

市における男女共同参画社会の現在の状況や市民意識を把握し、今後の取り組みに反映させるため、アンケート調査を実施します。  
 調査用紙が届いた方は、同封の返信用封筒をご利用いただき郵便ポストへ投函、又はインターネットによりご回答をお願いします。

- ▶ **実施日** 10月15日(月)～10月31日(金)
- ▶ **対象者** 20歳以上の市民2千人
- ▶ **調査方法** 郵送、インターネット



ご協力よろしくお願いいたします。

編集委員/阿久津一志 菊池和子 菊地千恵 鈴木房代 柳場美枝子  
 編集/みな編集委員 発行/那須塩原市企画部市民協働推進課  
 〒325-8501 栃木県那須塩原市共壘社108番地2  
 Tel: 0287-62-7019 Mail: kyoudousuishin@city.nasushiobara.lg.jp